

令和３年４月２７日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和３年４月２７日（金）午後２時から午後３時２０分

開催場所 勤労青少年ホーム２階「図書室」

出席委員

中本 喜弘 教育長
金子 明美 教育長職務代理者
山本亜由美 委員
刀禰 信子 委員

４人

欠席委員

山田 裕二

１人

出席教育委員会事務局職員

末岡 竜夫 教育次長
八木下理香子 事務局長
河村 充展 〃 教育総務課長
渡辺 義征 〃 学校教育課長
千々松雅幸 〃 生涯学習スポーツ推進課長
池田 正義 〃 文化財保護課長
藤本 儀昭 〃 学校教育課指導班長
倉増 裕 〃 教育総務課総務班長

８人

開 会

教育次長 末岡 竜夫

午後２時 末岡教育次長が令和３年度、４月第１回の教育委員会会議開会を宣言する

冒頭報告（要旨）

教育長 中本 喜弘

山田委員がご都合が悪いということで欠席されている。

４月１９日の臨時市議会で、教育委員の人事案件について山本委員の再任が承

認された。

5月22日から4年間、2期目をどうぞ宜しくお願いします。

委員 山本 亜由美

よろしく申し上げます。

教育長 中本 喜弘

- ・コロナの関係で下関市は昨日、成人式を中止するとの発表があったが本市では行う予定である。
- ・聖火リレーについても行う予定である。
- ・市民大学講座では阿川佐和子さんの事務所から昨日に辞退の申し出があったので中止する。

署名委員指名

教育長 中本 喜弘

署名委員に刀禰委員、山本委員を指名する。

会議録承認

教育長 中本 喜弘

前回の会議録の承認について、事前に各委員へ配布された会議録への意見、質問を求める。

全員承認

教育長報告

行事の報告を行う

- ・年度末から年度にかけて市の職員の辞令交付があった。新しい体制で改めて教育委員からご指導いただきながら教育行政の進展に努める所存である。
- ・4月5日に毎年新小学一年生に美祢ロータリークラブからいただいている防犯啓発クリアファイル「いかのおすし」贈呈式があり各学校に配布した。
- ・4月9日厚狭地区教育長協議会があり、大野審議官以下新たな義務教育関係の班、美祢地区担当者等集まり、県の教育方針の説明を受けた。
- ・4月12日7名の新任校長が参加し市内の小中校長会を行った。教育方針等の説明をした。
- ・4月14日第43回秋吉台観光まつり実行委員会に委員として出席した。今年度は入場制限等のコロナ対策を行い開催したいとのことで7/24（土）順延の場合は日曜日、コロナの状況によっては9月に延期すること。
- ・教育委員会では4月19日の令和3年第2回美祢市議会臨時会で教育委員の再任が承認された。教育委員会からはこの議案のみであった。

- ・今日の定例教育委員会会議であるが、今年度の大きな取組として、美東中学校校区で小中一貫教育の先行実施と公設塾の設置運営を進めている。4月1日からICT支援員を兼務する形で公設塾のコーディネーターを任用しており、4月17日に秋芳中学校・美東中学校で学校運営協議会とPTA育友会総会で説明した。会議後、教育委員の皆様にも説明させていただく。

報告を終了し、委員に意見を求める。

意見がないことを確認し、行事報告を終了する。

議題及び議事（要旨）

教育長 中本 喜弘

今回の定例会への提案は報告7件と議案9件である。

報告第2号、報告第8号、議案第33号については関連があるので一括での説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

報告第2号 美祢市学校運営協議会委員の解任について

報告第8号 美祢市学校運営協議会委員の任命について

議案第33号 美祢市学校運営協議会委員の任命について

学校運営協議会の委員は、対象学校の所在する地域の住民や生徒、児童又は幼児の保護者、地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者などで構成され、学校の運営に関する事項について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べることができるなどの強い権限も持つ委員である。

報告第2号ではこの度、学校教職員の人事異動等に伴い、令和3年3月31日付けで各学校の45名の委員を解嘱することについて、美祢市教育長に対する事務委任規則に基づき臨時代理したので、教育委員会に報告するものである。

報告第8号では、教育委員会定例会議前に学校運営協議会が開催されることから、令和3年4月9日付けで新たな23名の委員の任命について臨時代理したので、教育委員会に報告するものである。

議案第33号において併せて、新たに16名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、新たな委員の任期は、いずれも令和4年3月31日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 3 3 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

報告第 3 号、議案第 3 6 号については関連があるので一括での説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

報告第 3 号 みね型地域連携教育推進協議会委員の解嘱について

議案第 3 6 号 みね型地域連携教育推進協議会委員の委嘱について

みね型地域連携教育推進協議会は、地域連携教育や校種間連携の成果と課題を共有し、具体的な振興及び改善策を協議することを通して、社会総がかりで子どもの育ちや学びを支援する質の高い教育支援体制を充実させるため設置した組織である。

この度、報告第 3 号において学校教職員の人事異動に伴い 4 名の委員を令和 3 年 3 月 31 日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

また議案第 3 6 号において、新たに 4 名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 3 6 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

報告第 4 号、議案第 3 7 号については関連があるので一括での説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第 4 号 美祢市社会教育委員の解嘱について

議案第 3 7 号 美祢市社会教育委員の委嘱について

社会教育委員は、社会教育法に基づき市が設置することができる委員であり、職務としては、社会教育に関し教育委員会に助言することとしている。

この度、報告第 4 号において学校教職員の人事異動に伴い 2 名の委員を令和 3 年 3 月 31 日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

また議案第 37 号において、新たに 2 名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 8 月 31 日までとするものである。

教育長 中本喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 37 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

報告第 5 号、議案第 38 号については関連があるので一括での説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第 5 号 美祢市公民館運営審議会委員の解嘱について

議案第 38 号 美祢市公民館運営審議会委員の委嘱について

公民館運営審議会は、公民館長の諮問に応じて、公民館の各種事業の企画実施について調査審議する、社会教育法に基づき市が設置することができる機関である。

この度、報告第 5 号において学校教職員の人事異動等に伴い 6 名の委員を令和 3 年 3 月 31 日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

また議案第 38 号において、新たに 7 名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 38 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

報告第 6 号、議案第 39 号については関連があるので一括での説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第 6 号 美祢市人権教育推進委員会委員の解嘱について

議案第 39 号 美祢市人権教育推進委員会委員の委嘱について

人権教育推進委員会は、人権教育関係事業の企画運営等に対し助言を行うこととしている。

この度、報告第 6 号において学校教職員と市職員の人事異動に伴い 2 名の委員を令和 3 年 3 月 31 日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

また議案第 39 号において、新たに 2 名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 39 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

報告第 7 号、議案第 40 号については関連があるので一括での説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第 7 号 美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の解嘱について

議案第 40 号 美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱について

生涯学習のまちづくり推進協議会は、生涯学習のまちづくり関係に係る問題の提起や検討に関すること、関係事業の推進及び啓発活動に関することなどを所掌している協議会である。

この度、報告第 7 号において学校教職員の人事異動に伴い、1 名の委員を令和 3 年 3 月 31 日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

また議案第 40 号において、新たに 1 名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 4 0 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

議案第 3 2 号 美祢市教育支援委員会規則の一部改正についての説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第 3 2 号 美祢市教育支援委員会規則の一部改正について

教育支援委員会は、美祢市立小・中学校に就学しようとする者及び在学する児童生徒のうち、心身に障害があると思われる者の適切な教育的措置について協議し、適正な就学指導をするため、各校の校内教育支援委員会との連携や資料収集、医学的診断・教育的診断等の事業を行っている。

教育支援委員会の委員の委嘱の手續や任期、その他教育支援委員会の運営に関し必要な事項については、教育委員会規則で定められている。

これまで任期を 1 年とし、校長会等の推薦を 4 月 1 日付けで受け、当日から年度末までとした委嘱の手續を行っていたが、実際には、人事異動等により校長会の協議等により、4 月 1 日以降でないと推薦ができないことから、事務手續上の問題点を整理するため、条文の一部を改正するものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 3 2 号は承認される。

教育長 中本 喜弘

議案第 3 4 号 美祢市教育支援委員会委員の委嘱についての説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第 3 4 号 美祢市教育支援委員会委員の委嘱について

美祢市教育支援委員会規則第 3 条に基づき、7 名の委員の委嘱の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和 3 年 4 月 28 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第34号は承認される。

教育長 中本 喜弘

議案第35号 美祢市夢をつなぐ特別支援教育相談サポートチーム委員の委嘱についての説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第35号 美祢市夢をつなぐ特別支援教育相談サポートチーム委員の委嘱について

夢をつなぐ特別支援教育サポートチームは、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援や学びのつながりを大切にする教育を推進するために、教育、福祉、医療、心理等の専門的立場から、未就学児、児童、生徒、保護者、教職員等への適切な指導や助言をし、美祢市教育支援委員会へつなぐ等の就学に向けた適切な支援を行うための組織である。

この度、12名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和3年5月1日から令和4年3月31日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第35号は承認される。

教育長 中本 喜弘

続いて、協議報告を各課から求める。

教育次長 末岡 竜夫

令和3年度の教育委員会事務局の主要事業について説明させていただく。

- ・給食センターの建設について、今年度の基本設計から始まって、令和6年9月に供用開始予定としており、本年度は1,100食での基本計画、用地の取得までできればと考えている。用地取得の予算は現在は未計上である。
- ・学校適正規模・配置の推進について、令和2年度末に、重安小学校が閉校となった。於福中学校についても関係者との協議を始めたところ。
- ・GIGAスクール構想の進展について、令和2年度から算数、数学の教科で

試験的に導入していたが、令和3年度は国語、理科、社会、英語を加えて計5教科でQubena（キュビナ）というA I ソフトを活用し進めていく。年850万円程度のランニングコストがかかることになるが、先生方とも協議しながら進めていきたい。

- ・小中一貫教育について、美東中学校をモデル校として令和3年度から開始し、今年度は先ず9年間のカリキュラムを作成する。令和4年度から、市内全小中学校で一貫教育を開始したい。今年度末までに各中学校区で教育目標を統一する方針で臨みたい。
- ・みね探究塾「挑戦のトビラ」について、後ほどコーディネーターが説明する。
- ・学力向上への挑戦について、ここまでの学校教育課の事業だが、現状は県内、全国比で学力が低い状況であり、各事業を検証して、見直しを図りたい。
渡辺学校教育課長の今年の目標は「革命」ということで、革命が起きるくらいしっかりとやっていきたい。
- ・秋吉台保存活用計画策定について、今年度が最終年度となっており、文化庁の補助で今年度中に策定する。博物館等4施設の将来構想については令和2年度末に策定完了した。令和3年度以降は、秋吉台科学博物館に焦点を絞って検討する。
- ・ジオパーク活動の推進について、観光施策との共同推進ということで、県内、それから近隣の広島、福岡を中心に修学旅行誘致を去年始めた。誘致の結果、対前年比でいうと長登文化交流館は1,100%で10倍の人数になっているなど多くの学校が訪れている。
- ・総合支所複合施設化について、美東・秋芳総合支所の建て替えは令和5年度に完成し供用開始する予定だったが、市の財政上の問題で、現在令和6年度に供用開始する予定。図書館と公民館が同じ施設となるのでしっかりと検討する。
- ・宇部サンド温水プールの指定管理者移行について、現在は直営で行っているが、利便性の向上等、民間ノウハウを活用するため、指定管理者制度の導入に向け準備する。
- ・美祢図書館建設について令和2年までに基本構想の素案ができており今月24日に広く意見をうかがうためワークショップを行う予定であったがコロナの状況により延期となった。令和6年から7年に建設工事に入れればと考えている。

教育長 中本 喜弘

主要事業について説明させていただいた。意見・質疑を求める。

委員 刀禰 信子

小中一貫教育の開始に関して、今年度、9年間のカリキュラムを作成されるということで、先生方の苦勞を慮る。先生方にくれぐれも無理がないように、

しかし、来年度から始まるということなので、しっかり準備していただきたい。

教育次長 末岡 竜夫

美東中校区の4人の校長と協議しながら進めているので他にも教育委員の皆様方から意見があれば、お伝えしたい。

職務代理 金子 明美

カリキュラムについて、総合的な学習の中で、地域の特色が出るが、カリキュラムの統一をしない場合、中学校で小学校で行ったことと同じことをやるなど、重複するような状況が見られた。教科のカリキュラムは、余り変わらないが、小学校の教材が中学校でどうつながるから、小学校でしっかり取り組んでおかなければいけないとか、或いは中学校で、小学校では難しかったから重点を入れて指導しておかねばならないとか、そういう摺合せがとても大切である。地域教材については、特に小学校の段階から継続的に、そして発展的に、進化していくような流れでいくと、子供たちの成長へもつながり、また地域の人とも一緒に学べるのではないか。

教育長 中本 喜弘

府中学園に視察に行った時小学校と中学校のカルチャーを一緒にして、一つの9年間カリキュラムにするというのは大変だったとの言葉が印象に残っている。岩国や宇部では既に中学校区ごとで小中一貫教育を行っているが、一体型でないところで、カリキュラムの統一がきちんと隅々まで行き渡っている訳ではないと聞いている。これから小学校高学年も、専科の授業が入ってくることもあり小中の先生方が9年間、本来は幼保や高校との連携もあわせての18年間という形になるのかもしれないが、とりあえず教育委員会所管の9年間は、先生方も、1人の子供について、9年間のステップをきちんと把握しながら、協力して学びに導いていくことが一番大事なので、その辺は刀禰委員の御指摘もあったが、無理のないところで、着実にできるところから進めていきたい。

委員 山本 亜由美

令和2年度はWi-Fi環境が整っていない家庭へ支援する事業があったと思うが、事業は令和2年度で終了したのか。資料には家庭通信環境への支援という事業があるが、今現在は授業がオンラインで行われている状態ではない。Wi-Fiを繋いでいる家庭でも兄弟が多い場合や、一斉にオンライン学習になった時に、現在の環境では繋がらない又は繋がりにくいという場合も出てくることが考えられる。その場合、新たに対応しなければならなくなった場合の支援が今年度も継続するのか、また、支援を考えて頂けるのか。

学校教育課長 渡辺 義征

令和3年度に入学した子供たちまでが令和2年度事業の対象であり、支援を行ってきた。また令和3年度事業として令和4年度に小学校に入学生する子供のための予算は確保しているが、現段階では山本委員が言われるような具体的な支援策、支援の予算は計上していない。

今後、一斉休業等で同時に家庭が繋いだ場合に、山本委員が言われたような状況は起こりうる事だと思う。今後、必要になれば、補正予算等で支援を行うことを考えたい。

委員 山本 亜由美

ありがとうございます。

教育長 中本 喜弘

事業自体がスタートしたばかりで、課題が次々と現れると思うが、着実に改善して進めていきたい。

他に意見を求める。

委員 刀禰 信子

「学力向上への挑戦」の説明で、渡辺課長が今年度は「革命」と言われているとのことだが、具体的な説明を聞きたい。学校訪問を通じて、学校差が大きいということを真に委員が共有する必要性を感じている。学力向上が美祢市の大きな問題ならば少しでも改善する方向で進んでほしいという願いであるので、どのように考えられているのかを聞きたい。

学校教育課長 渡辺 義征

それぞれに大きな課題があると思っている。子供たちは素直で真面目であり、先生方も真面目で一生懸命である。しかし、先生方の教育観に一番課題があるのではないかと考えている。新しい中教審の答申で打ち出された「令和の日本型学校教育」で示された「一人一人に対応した個別最適な学び」と「協働的な学び」に繋がるように先生方の認識を変えていきたいと考えている。

現在は一斉授業や先生の授業を静かに聞き、先生が教え込んでいくような学びになっているが、そうではなく個別最適な学びや協働的な学びが大切でありその改善には校内研修が一番大きな柱となる。今年度の校内研修の進め方について、今年1月下旬に各校の学力向上担当に研修をしたが、4月30日に学力向上研修会を実施し、さらに深めるように関わっていくよう考えている。また、各学校の研修について、今年度は校内研修を進める段階から各校の担当指導主事が一緒に考え、研修の中身に関わるようにさせているところ。それにより先ず先生方の認識を変えていくことから取り組み、校内研修の活性化に繋げたい。それと並行してG I G Aスクール構想の実現のために導入したタブレット端

末を活用して先生方の負担減としたい。先生方が膨大な時間をかけてやっていた個別最適な学びの準備に、コンピューターの力を使うことで大幅に時間を短縮できる。個別最適な学びと先生方の負担減を効率的に進めるためA I型の学習教材ソフトを導入したが、どのように使えば個別最適な学びに繋がるのか、協働的な学びに繋がるのか研修会を行おうと思っている。5月7日にまず1回目を開き、昨年度の良い取組や、A I型の学習教材が5教科になったときにどう使ったら良いのかを紹介する研修を行う。年間3回の流れで、学力向上とI C Tの活用が、研修の周期として繋がるように、次は、夏休みに研修会を開き、それまでの取組を何処が課題なのか検証して新たな取組についても進め、そして1月の研修会に向けて次の取組も進めていき、次の段階で検証ができるようなサイクルで、学力向上とI C Tの活用を進めていく。並行して学力向上推進リーダーが小学校のみだったが今年度は中学校にも再び付けることが出来たので、この学力向上推進リーダーと、市教委が、定期的に協議を行い、学校の現状を把握していく。そして、進めたい方向性をリーダーと共有し、各校の取組にも生かしていくこともやっていきたいと考えている。

委員 刀禰 信子

ありがとうございます。期待している。

教育長 中本 喜弘

他の教育委員から提案があれば後の御意見のところで承りたい。
次の協議報告について進めさせていただく。

教育総務課長 河村 充展

先週4月24日に北九州の学校でバスケットボールのゴールポストが丸ごと落ちたという案件を昨日に教育長が情報収集された。教育総務課で緊急対応ということで、ボルト締めを確認するため現在、業者と交渉している。

学校教育課長 渡辺 義征

4月8日、市内の全ての学校で始業式が行われた。大嶺小学校以外は4月8日、大嶺小学校は4月9日に入学式を行った。全ての小中学校で、始業式、入学式が無事に行われた。各学校とも順調にスタートをして取組を進めているところ。そうした中、またコロナの影響が出始めている。県内でも、感染者が増えてきていて、いろんな行事を取り急ぎ検討しなければならない状況となっている。5月に運動会を開催する学校もあるので現状を調べたが、昨年度の実施状況を受けて、できるだけ来場者を少なくして取り組むところが多い状況。この中で、麦川小学校が5月22日に地域の麦川体力づくり振興会との合同開催で40名の来賓が来られる予定。ここについては、この地域の体力づくり振興会の会長、学運教の会長、育友会の会長、校長と協議をして現段階ではこのとおり進めるこ

とになっているが、今後、コロナウイルス感染症の状況に応じて、2週間前に再度協議をして、状況が悪化するようであれば、変更等もあり得るということで、考慮はしていくというところ。運動会については各学校、来賓1、2名とか、保護者の来場を制限して進めているので、1学期の5、6月に開催されるものについては教育委員会からの激励訪問も遠慮する方向で進める予定。後期の9月についてはまた感染状況を見ながら判断をさせていただきたいと思う。

修学旅行については、昨年度の色々な教訓を受けて各学校も工夫をして開催時期や行先等を考慮していたところ。直近で大嶺中学校が九州方面を考えていたが、この最近の状況から、先週金曜日に、育友会の執行部等と協議をして一旦は6月に延期になっている。昨日保護者宛の文書配付をしたということで、6月に実施をすることと併せて期間を中学校は2泊3日から1泊2日にし、行先も県内とのことで業者と検討しているとのこと。

その他のところは、キャンセル料等が発生をするまで時間があり、それまでに感染状況を確認しながら判断するということで、キャンセル料等も発生させないように尚且つ、実施できるように準備を進めているところ。

教育委員に同行いただく学校訪問について、現在のコロナウイルス感染症の状況を考えると今年度は全学校を訪問するのは難しいので、今年度新たに校長に着任をされた7校を訪問する予定。訪問時期については、2学期ということで、現在調整をしている。しかし、これについても、今後の感染状況によっては、昨年実施したような形態になる可能性もあると思う。しかし、できるだけ頻繁に各学校に入って学校の状況や研修に関わったりする部分は進めていき、学校の活性化につながるようにと思っている。

コロナウイルス感染症に関して、現在の状況をお話しする。先週末に、県立学校に対して、県が感染レベルをレベル2の段階に引き上げる通知が出されている。同居家族に風邪症状が見られた場合は、児童生徒を学校に登校をさせないという内容である。県内の感染状況は多少厳しい状況だが、本市においては、まだそこまでの状況ではないという判断で、文書を配っている。家族に風邪症状がみられる場合は、保護者の判断で子供が健康であれば登校させてもかまわないが、不安であれば相談を受ければ欠席扱いしない対応としたい。県内の県立学校は先ほどのような対応だが、市町は、市の状況に応じ対応していく。萩市、長門市は、美祢市と同様の対応で進んできた。下関市、宇部市、山陽小野田市、周南市は県立と合わせてレベル2という対応で、感染状況が厳しいので、特に風邪症状が見られた子供は登校を見合せている状況。関係資料も添付しているので、どのような取組が行われているのか見ていただければと思う。

教育長 中本 喜弘

続いて生涯学習スポーツ推進課に協議報告を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

生涯学習スポーツ推進課からは、4点報告する。1点目は図書館建設に係る車座集会について、これについては先ほど次長から説明があったとおり、4月24日に予定していたところ、コロナの感染状況拡大により延期している。東京から講師を呼んで、様々な市民の方の意見を伺いながら行う会議となっている。リモート開催も検討したが、会議の性質上馴染まず、やはり委員方や参加者の意見をしっかり膝詰で聞きながらやった方が良いということで延期としている。今後の見通しが立てばまた御案内したいと考えている。

2点目は成人式について、5月2日、10時から市民会館大ホールで開催する予定である。参加予定人数は現在143名であり保護者等の参加が137名となっている。式典は10時から30分以内で終える予定にしている。その後は記念撮影をして解散の予定。当日、オンラインのユーチューブ等で生配信をする予定だが、プライバシー保護の観点から限定公開とする予定。また、アーカイブ配信を予定している。MYTの映像データをいただいて、編集したものを、後日でも閲覧やダウンロード可能にしたいと考えている。現在、できる範囲の感染防止対策を講じて開催する予定としている。

3点目は聖火リレーについて、美祢市において5月14日金曜日、カルストロード内2.2キロの区間で聖火リレーを行う予定としている。雨天時決行で荒天以外は行う予定。リレーの実施時間は15時26分から15時54分であり、聖火ランナーは11人おられる。阿川佐和子さんと大谷春樹さんが走られる予定になっている。しかし、感染状況の問題があるので阿川佐和子さんは、5月6日、7日に出欠の判断予定となっている。そして、ミニセレブレーションとして長者ヶ森駐車場で、簡単なイベントを行う予定。市長の挨拶、美祢青嶺高校の吹奏楽部生徒23名による演奏、成進高校吹奏楽部26人の生徒による演奏の後は記念撮影となる。観覧につきましては、区間4か所で観覧できるようになっているが、100人の募集に対して4月21日に締切り、今のところ42名の応募がある。

4点目は市民大学講座について、聖火リレーの翌日の5月15日に開催予定だったが、阿川事務所から辞退の連絡があり、中止となった。残念だが参加規模594名であり、今後どうするかについてはまた内部で検討したい。

教育長 中本 喜弘

続いて文化財保護課に協議報告を求める。

文化財保護課長 池田 正義

カルストロード付近における陥没調査について、大正洞付近のカルストロードにおいて空洞調査の報告をした。今月の中旬頃この調査についてテレビ報道があり、ご覧になられた方もおられるかと思われるが、調査のきっかけは、伊佐町北川において陥没が相次いだことから、山口県が主要路線の状況を調査したことによるもので、この山口県の調査では、美祢市全体で13か所の陥没の疑いがある地点が見つかった。うち4か所が特別天然記念物の指定範囲内にあり、

特別天然記念物を所管する当課へ工事に関する届出やその工事の際の立会を求められた。4月7日と15日の2日間調査が行われ、立会いをした4か所も含めて、13か所については、陥没が確認できないとの報告を受けた。なお、伊佐町の陥没については、明確な原因は不明で、本課に所属する特別専門員によると冬時期に雨量が少なかった影響で、地下水が減少し、地質上陥没が生じやすくなったものではないかとしている。

教育長 中本 喜弘

続いて世界ジオパーク推進課に協議報告を求める。

事務局長 八木下 理香子

世界ジオパーク推進課からは2点報告する。

1点目はMYTのジオパーク紹介番組について、昨年度末に長登の赤を放送したが、第2弾の黒ということで大嶺炭田の番組が先週の4月22日に放送され、今日が再放送日である。来月に黒の後編が放送される。

2点目が地域おこし協力隊の着任について、4月1日付けで世界ジオパーク推進課に任用した。今まで、ICT支援員で活躍していた中川さんを10月から世界ジオパーク推進課の産休代替の臨時職員として任用していたが、地質の専門家ということもあり、今後、力を発揮してもらいたいと思う。先ほど紹介したMYTの番組も彼がメインで制作している。併せて地域おこし関連で、冒頭に教育長からもお話があったが、公設塾のコーディネーターとして、前嶋さんを任用している。

教育長 中本 喜弘

各課からの報告について。意見や質疑を求める。

全員特に意見なし

教育長 中本 喜弘

最後に、次回の教育委員会会議の開催について事務局に提案を求める。

教育次長 末岡 竜夫

次回の定例教育委員会会議は令和3年5月27日（木）午後2時から開催する旨を通知。

全員了承

閉 会

教育長 中本 喜弘

午後3時20分教育委員会会議の終了を告げる。

令和3年4月27日

教育長

委 員

委 員

会議録作成